ウガンダICT企業とのビジネスマッチングに関する情報発信セミナー
ウガンダICT企業との協業経験②

2023.12.15

株式会社eftax
中井　友昭

eftax

当社の紹介

会社名	株式会社 eftax eftax Co., Ltd.
所在地	〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通3丁目90番地1 尼崎K.Rビルディング5F
創業	2013年01月08日
代表者	代表取締役 中井　友昭
従業員数	社員（役員含む）11名・パートアルバイト11名・業務委託4名・インターン14名 （2023年11月末現在）
関連会社	荒巻 税理士法人
免許・認定	宅地建物取引業・兵庫県知事(3)第204166号 有料職業紹介事業・許可番号28-ユ-300936 スマートSMEサポーター（認定番号：第9号-20050017） 情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)（認証番号：MSA-IS-528）
加盟団体・協定	みせるばやお 大阪府DX推進パートナーズ AWS Select tier Partner

CONFIDENTIAL Copyright © 2022 eftax Co., Ltd. All rights reserved.

「デジタル技術」と
「海外高度人材」の力を活用し、
持続可能な地域社会を

定型業務の自動化・効率化

データ分析に基づく意思決定支援

海外高度人材の採用支援・コンサルティング

CONFIDENTIAL Copyright © 2023 eftax Co., Ltd. All rights reserved.

海外人材とのかかわり

- 社内公用語は英語。現在、インドネシア、トルコ、スーダン、ナイジェリア、モロッコなど多国籍の社員がフルリモート、フレックスタイム制で勤務
- 2019年2月から2023年11月の間に27か国から64名のインターン生を受入れ

これまで受入れ実績のある国

中国、シンガポール、インドネシア、タイ、ヴェトナム、マレーシア、ミャンマー、インド、パキスタン、
スリランカ、アフガニスタン、シリア、トルコ、ロシア、ブラジル、スーダン、エジプト、モロッコ、
ナイジェリア、ウガンダ、ザンビア、モザンビーク、ベナン、ガーナ、ケニア、南アフリカ、レソト

CONFIDENTIAL Copyright © 2022 eftax Co., Ltd. All rights reserved.

本セミナーでお話しすること

- ウガンダパイロットプロジェクトでのウガンダのICTエンジニアとの協業経験について
- オフショア開発やICTエンジニア採用等の協業を成功させるポイント

CONFIDENTIAL Copyright © 2022 eftax Co., Ltd. All rights reserved.

ウガンダパイロットプロジェクトについて

実施期間　2021年9～11月の約3か月間

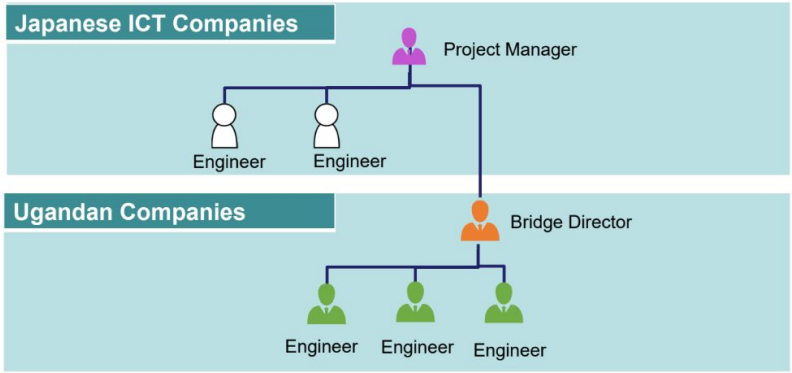
実施目的　ウガンダのICTエンジニアが、メンバーとして日本のICTプロジェクトを遂行できるかどうか、また、遂行する際にどのような課題が生じるかを分析する。

CONFIDENTIAL Copyright © 2022 eftax Co., Ltd. All rights reserved.

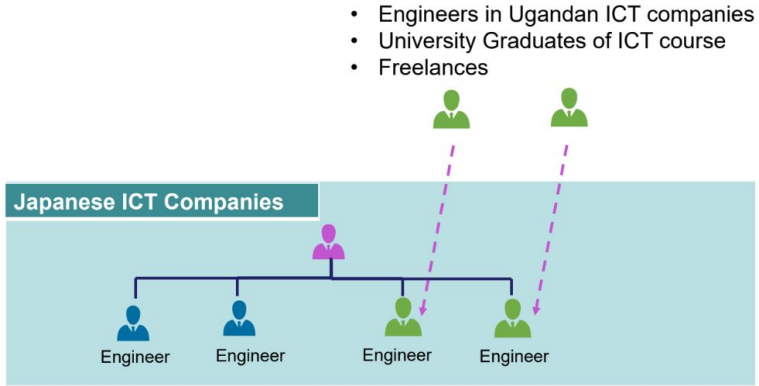
ウガンダパイロットプロジェクトについて

参加形態　Offshore Outsource TrialとRemote Inhouse Trainingの二類型のうち、弊社は後者の形態で実施し、フロントエンドとバックエンドの人員をそれぞれ一名ずつフリーランス契約で開発メンバーに参加いただいた。

Idea (1) Offshore Outsource Trial



Idea (2) ：Remote Inhouse Training



資料：“Survey on ICT industry promotion and start-up ecosystem strengthening in the Republic of Uganda Project Plan”（KPMG）より抜粋

CONFIDENTIAL Copyright © 2022 eftax Co., Ltd. All rights reserved.

ウガンダパイロットプロジェクトについて

プロジェクトの実施内容

- パイロット事業向けの模擬プロダクトバックログの作成
- スプリントプランの作成（2～4週間の活動計画）
- スプリントプランニング会議の開催
- 週次ミーティングの開催
- レビュー会議の開催（2～4週間ごとに開催）※調査団同席
- 振り返りミーティングの開催（2～4週間ごとに開催）
- ウガンダのICTエンジニアに対する作業指示
- ウガンダのICTエンジニアが作成した成果物に対する品質のチェック
- ウガンダのICTエンジニアが作成した成果物の改善に向けた助言
- その他、不定期のウガンダの ICTエンジニアからの質問に対する技術指導
- パイロット事業の実施報告書の作成（パイロット事業を実施した感想や、事業を通じて明らかになった課題、ウガンダの ICT人材に対する評価などについて簡潔に取りまとめる

CONFIDENTIAL Copyright © 2022 eftax Co., Ltd. All rights reserved.

ウガンダICTエンジニアとの協業について

スキル	時差の少ないヨーロッパの仕事をすることが多く、プログラミング言語・フレームワーク、Githubでのコード管理、Trelloでのプロジェクトマネジメントなど、標準的なスキルは備わっており、特に問題は感じなかった。
言語・コミュニケーション	英語はややイントネーションの癖はあるが、日本人でも十分に聞き取れる。チャットで英語のテキストベースでやり取りするうえでは特に問題はなかった。
文化的ギャップ	ヨーロッパの仕事では、仕様書がかなり細かく書き込まれており、その仕様通りに開発することに慣れており、そこまで細かく書き込まれていない当社からの仕様書や指示に対し不満の声をいただいた。
時差	ウガンダと日本の時差は6時間。15時頃ミーティングをセットすればウガンダは朝9時。タスクさえ明確化されていれば時差の問題はさほど感じなかった。
契約・海外送金	契約の締結はスムーズに完了。海外送金もWiseというサービスを使用して滞りなく送金できた。（アフリカでもナイジェリアなど国によってはWiseが使えない地域あり）

CONFIDENTIAL Copyright © 2022 eftax Co., Ltd. All rights reserved.

当社がオフショア開発や海外CTエンジニア採用で心掛けていること

- 国ではなくヒトを見る
- オンボーディングが大事
- 単なる外注先ではなく人として付き合う

CONFIDENTIAL Copyright © 2022 eftax Co., Ltd. All rights reserved.

当社がオフショア開発や海外CTエンジニア採用で心掛けていること

国ではなくヒト

弊社では、海外エンジニア採用において国籍はほとんど気にしない。
ヒトを見ている。
スキル、コミュニケーション能力、責任感、主体性、協調性などを総合的に勘案し、採用する。
日本語ができるという条件をつけると非常に選択肢が狭まる。
英語のみで可にすれば、一気に分母が増える。日本語はできないけどコミュニケーション能力の高い優秀層の人材を採用したほうが、一を伝えると十汲んでくれるので、色々と物事がスムーズに運ぶ。

CONFIDENTIAL Copyright © 2022 eftax Co., Ltd. All rights reserved.

当社がオフショア開発や海外ICTエンジニア採用で心掛けていること

オンボーディングが大事

採用時のオンボーディングで、開発のコーディング規約やコミュニケーション、プロジェクトマネジメントに使うツール、情報セキュリティの内部研修などをしっかりと受けてもらい、開発の共通認識をしっかりと合わせる。
このステップを端折って、タスクだけ切り出して依頼すると、後々コードリファクタリングなどで大変な目に遭う。
弊社の場合は、インターンシップで3か月間ほど試し、しっかりとカルチャーフィットしてから採用するケースがほとんど。

CONFIDENTIAL Copyright © 2022 eftax Co., Ltd. All rights reserved.

当社がオフショア開発や海外CTエンジニア採用で心掛けていること

単なる外注先ではなく人として付き合う

海外エンジニアをただの外注先として扱うのではなく、人同士のコミュニケーションを大事にしている。
情報セキュリティ体制の構築はもちろん重要だが、信頼には信頼で返してくれるので、なるべく現地に会いに行ったりして信頼関係の醸成を心掛けている。
オンラインでのeスポーツ大会（マリオカート）なども開催し、時折、交流を深めている。

CONFIDENTIAL Copyright © 2022 eftax Co., Ltd. All rights reserved.

アフリカ人材についての個人的な感想

とにかく明るい

全員で激しく意見をぶつけ合い、喧嘩してるのではないかと思ったら、そのあと皆で大笑いする。
日本人とはコミュニケーションのスタイルがかなり異なる。

カントリーリスクはどうしてもある

今年4月にスーダン人の社員が内戦に巻き込まれ、国外退避するまで約1ヶ月間連絡が途絶えた。
内戦の状況を調べるため、ネットでニュースを検索しても最新の情報があまり出てこず、アフリカの情報は日本には限定的にしか入ってこないのだということを強く感じた。
やはりカントリーリスクはあるので、事前にその国のことをよく調べておく必要がある。

当然だが、一口にアフリカと言っても国によって文化も価値観も大きく異なる。
その多様性に触れ、一つ一つの国について知ることは得難い喜びである。

CONFIDENTIAL Copyright © 2022 eftax Co., Ltd. All rights reserved.